市では、子育てを支援する『地域子育て支援センター』を3カ 所開設しています。

親子で来園して楽しく遊んだり、友達を作ったり、保護者の 育児情報交換の場としてご利用ください。市内に住所があり、 小学校就学前までの幼児と保護者なら、どなたでも無料で利用 できます。

また『子育て相談』もありますので、お気軽にどうぞ。



なかよしひろば

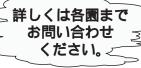
(慈恩保育園地域子育で支援センター) 白山堂 171 2 電話 0558 76 2552 月~金 9:00 ~ 17:00(祝日除く) (園庭開放は9:00~11:30)

5月のぎょうじ

21日(水) 10:00~楽器であそぼう *事前申し込みが必要

天気の良い日は園庭で絵本や紙 芝居の読み聞かせをしています。 相談専用電話では、子育ての悩 み相談に、専門の保育士が応じ ます。ご利用ください。

相談専用電話 0558 76 2656



第1分団 DATA

(1,808世帯/4,524人)

25人(うち支援8人)

30.5歳*

佐藤勇一(古奈)

60 %

墹之上

軽くしていければ行事等を減らし、

団員の

ければと思い

理解してもらうとともに、

ひまわりひろば

(ひまわり保育園大仁分園 地域子育て支援センター) 大仁 229 1 電話 0558 76 1173 月~金9:00~11:30、13:30~16:00 (祝日除く)

5月のぎょうじ

9日(金) 10:30~交通安全教室 13日(火) 10:30~

リズムであそぼ!

15日(木) 10:30~星のおはなし会 16日(金)避難訓練

20日(火) 10:30~

小麦ねんどであそぼ!(2、3歳) 21日(水) 10:30~

小麦ねんどであそぼ!(0、1歳)

29日(木) 防犯訓練 行事の時間はいずれも午前中

四日町 234 1 電話 055 949 0823 月~金9:00~11:30、13:30~16:00 (祝日除く)

5月のぎょうじ

8日(木) おやこで踊ろう 13日(火) 9:30~狩野川公園で遊 ぼう 現地集合・現地解散。雨天中止) 15日(木)たんじょう会

19日(月)あじさいを作ろう(0、1歳)

29日(木) おおきくなったかな

30日(金) きれいにしよう

行事の時間はいずれも午前中

すみれひろば

(地域子育て支援センターすみれ)

2日(金) おはなし会

20日(火)あじさいを作ろう(2、3歳)

22日(木)避難訓練

しょう。

27日(火)交通安全教室

ページに掲載しています。 観光パスポー トの記事は四~五

舗旅館の三代目。 伊豆は観光地だ」という感覚が体 山口さんは、 いるそうです

もある、 じ気持ちでおもてな を提供する側(協賛店)みんなが同 ってもらいたいんです」 からには、 大切な時間を費や にとっての一大イベント。 『観光パスポ がかての、 と山口さん。 観光施設、 い思い出を作っ ト』は、 して来てくれる 。「市になってもしできる利点 旅館、 家族の て帰 ビス 飲食

も。観光パスポー 店などが一致団結した観光キャ 観光客以上に、 成功させたいです ト』でおもてなし 市民の皆さんに

客様をおもてなしできます。 に住んでいることを実感してもら !となるのが夢ですね(笑)」。 いずれは協賛店を伊豆全域に 自分が『観光地・伊豆』 おもてなしの小旅行 「みんなが『観 市をあげてお 代表的 そし 者たち。皮うは、新しい体制のもと、消新しい体制のもと、消 十あった分団も、す。昨年まで市内 このコー 兀 どんな人たちなのか てみたいと思い 二分団になりました。 の国市には、 な彼らの素顔に迫っ 月から統合され、 人の消防団員がい 人口約五万人の伊豆 年まで市内に二

光』を理解すれば、

い た い

と言います。

を受けて、

お土産とい

えば『観光パ

点片手に、

週末は皆さんも、『

も拡大し、

将来、

伊豆の!

時代とはいえ、 昔に比べて、 『旅行』は今も家族)、経済的に豊かな

理解して

みません

WAY

和がずひろ **拡**さん

事業実行委員会運営部長伊豆の国観光パスポート (招福の宿ゑびすや社長)

目。幼少の頃から大正九年創業の老

Go! GO ゴーゴーしょうぼうだん

につい 突然ですが、

についてです。 か?消防。署』ではなく、 どのくら くらい知っていま 皆さんは消防E 消院

家族を守ること。 地震などの災害から、 消防団の仕事は、 火災や台風、 地域の・ し彼ら [刊

の職業を別に持ちながら、 企業に勤めるサラリ 農作物を育てる農家など、 消防署勤務のプロの 消防団』というボランティア活 マン、 商店を営む自営業者、 あ

りませ

事現場で働く作業員、

それは彼らに、「 精神に基づいた、 自分たちのまちは、

に身を投じているのです。 彼らは消防団活動をするのでしょう?

なぜ、

郷土を愛する心があるからです。

自分たちで守る」という

約四百二 この ま

各分団の管轄区域

之上)の統合により誕生しました。 面隊第一分団(古奈・富士見)と、伊豆の国市消防団第一分団は、 旧·伊 同第三分団(二分団(墹)

管轄区域には、

マンションや新興住

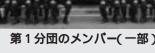
宅などの住宅街 域ではありますが、 館や飲食店が います。 沿 軒を連ねる 大規模小売店

め祭り』や、 ラスの人口・建築物の密集区域と言えます。 大会』などで、 この地区と言えば、 十二分団中、 八月の。伊豆長岡温泉戦国花火 皆さんも訪れたことがあるで の樋管 毎年七月の。源氏あや 最 も 市内トップ 2 を管 理

別に、それらのイベ などにもあたります。 分団は、 る。子ども夜警』も実施し、 。また、冬の夜警(注2)では、ントや神社の秋祭り等での警 らう努力を続けています。

本来の消防業務とは 小学生に大好評だった『子ども夜 動の一番のメリットは、 (鈴木分団長より)「 地域の皆さんに消 備や交通整理 小学生と 消防団活

古奈温泉』を抱え の



消防団は慢性的な人出不足。 事やプライベー トで生涯に渡っ たちの活動の重要性を皆さん 自分の仕 しかし、 人脈が ます

できること。それは、

て役に立つ宝物です。

ま 寸

★は詰所の位置

支援団員を除いた現役団員の年

分団長

副分団長

団員の職業

団員の平均年齢

自営業

会社員